

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～深井		
○保護者評価実施期間	令和6年8月19日		～ 令和6年9月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年9月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のプログラムが固定化しないように、空き時間を利用してチームで内容を考えているところ。	個別支援計画更新時にうかがった本人や保護者さんのニーズをていねいに確認しながら、個別のプログラムも集団のプログラムも考えている。	・事業所内での支援会議やプログラムの立案の時間をしっかり確保していく。 ・同じ事業所の他店舗と引き続きプログラムを共有し合っていく。
2	終礼で、その日の支援について丁寧に振り返りを行ない、共有しているところ。	主に利用児の活動の様子や気持ちにスポットをあてて共有を行なっている。すべての職員が話しやすい雰囲気を作っている。	・指導員側の支援についても積極的にみんなで共有をしていく。
3	お子様に寄り添って支援させていただくことで、楽しく安心して通っていただいているところ。	小さなこともたくさん褒めさせていただき、自信につなげていきたいと思い支援している。利用後の保護者さんへのフィードバックもていねいをこころがけている。	・より専門性を高めた支援ができるように積極的に研修会等へ参加し職員全体で共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の安全確保に関して、保護者さんへの周知が少し不足している。	避難訓練や避難場所の確認はできているが、実際に災害が起きた場合の送迎の確認や利用時に災害が起きた場合の避難所を事業所としては把握しているが保護者さんにしっかり伝えられていない。	・できるだけ早く、お手紙を準備し配布する。
2	研修に参加する機会がなかなかとれていない。	事業所全体で研修の場をとっている。また今年度は市の育成支援事業でスーパーバイズも受けている。ただ、外部での研修にはなかなか参加が難しい。	・外部での研修に指導員が積極的に参加できるように職員の体制を調整していく。
3	園や地域など他の子ども達と活動する機会が持ちにくい。	プログラムの時間が決まっておりになかなか難しい。	・きょうだい児も一緒に参加できるようなイベントから検討していきたい。